

## 休止中の「コミホームいこいの場」に関して

木々の緑が日ごとに色を深めていく昨今、お障りなくお過ごしでしょうか。

いつも至誠コミホームいこいの場をご利用下さいましてありがとうございます。新型コロナウイルス蔓延の為、いこいの場は3月から休止しております。

緊急事態宣言も解除され、街では少しずつ日常を取り戻しつつありますが、ウイルスが無くなった訳ではなく、ワクチンもまだ開発されていない現在、高齢者が感染すると重症化するリスクが高くなると言われており、いこいの場を再開する際には、十分な感染防止策を講ずる必要があります。

東京都では「適切な感染拡大防止策」として、①発熱者等の施設への入場防止、②飛沫感染、接触感染の防止、③3つの『密』（密閉・密集・密接）の防止を挙げています。

このうち、①については、利用者の検温・体調確認を行い、37.5 度以上や体調不良の方の入場を制限することで対応、②については、マスクを着用し、お茶等は紙コップを使用することで対応できると考えています。しかし、③については、レストラン等では、座席の間隔を空けて座席数を制限するなどの工夫をしていますが、いこいの場はスペースが狭いため、利用者同士の間隔（約2m の確保）をとる事が難しく、また、これからの暑い季節、冷房をつけながら、換気する（2 方向の窓を同時に開ける）ことになり、今のところ対応が難しいと考えています。

今後、例えば、1日の人数を5名程に制限し、グループ分けして通って頂くなどの方法も検討が必要かと考えます。いずれにせよ、感染がある程度収束し、社会活動が正常な状態に戻り、いこいの場の再開の見通しが立つまでには、もう少し時間が掛かるとみられます。

地域の方に安心して通って頂けるよう、出来ることから少しずつ取り組んで参りますので、引き続きお待ち下さい。皆様におかれましては、出来る限り不要不急の外出を避け、健康に留意しお過ごし下さい。

令和 2 年 6 月 吉日



社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム  
至誠コミケアセンター センター長 宮本智行  
統括主任 森 幸夫  
いこいの場担当 岡崎比佐乃

立川市柴崎町3-18-18 至誠コミケアセンター  
042-548-0753